

I. 平成30年度の実績

グループ名称	くまもと希望の星				
H30採択グループ番号	07	—	0120	—	0752

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	2ヶ月に一度行われる定例会以外にも、SNS等を使い、常に情報やノウハウの共有化を図り、長期優良住宅、耐震等級3やZEHに積極的に取り組んできました。また、平成28年熊本地震において、くまもと型災害公営住宅の建設でも多くの被災者の自立再建にも寄与し、自立再建が難しい被災者へは災害公営住宅の建設に加わり支援を行った。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/05/16	名称	くまもと希望の星 第35回会合	●
	内容	平成30年度地域型住宅グリーン化事業のグループ登録に向けての話し合いを、今年度より会長になられた有限会社村田工務店様の会議室に集まりました。募集要項等が出されてから初めての会合で、今年から、事務局担当が変わりましたので、顔合わせを兼ねて、今年度のグループ活動と採択に向けて話し合いを行いました。					
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2018/10/14	名称	長期優良住宅(耐震等級3)構造見学会	●
	内容	消費者様(お施主様)に賢い家づくりをしていただきたいので、各工務店が開催している【長期優良住宅・ZEH 初期セミナー】です。長期優良住宅とZEHをわかりやすく解説して、理解・納得してもらうことを目的としています。					
③ 工務店	消費者説明会 2	有	開催日	2018/10/27	名称	住宅資金セミナー	●
	内容	FPの講師により住宅資金の借入れと返済に関して、高性能住宅の優位性を説明されました。工務店ではなく、第三者のFPの立場から一般消費者へわかりやすく伝えることにより、理解度が高くなるようこのような機会に触れることが出来たことに感謝の声がありました。					
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/05/30	名称	住宅支援機構・ゴカイを解消！「リバーモゲージ」を例	座学 ●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/05/30	名称	「平成30年度被災住宅再建資金助成事業」の説明会	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 3	有	開催日	2018/11/29	名称	(一社)KKN主催伊香賀俊治慶応義塾大学教授講演会	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有		●
	内容	有限会社村田工務店 建築現場にて施工現場視察と耐震構造や維持管理に配慮した納め方などについて、他工務店に対してサポート研修を行いました。また現場の担当者との意見交換をして学びの場となりました。		
取組み②	サポートの有無 2	有		●
	内容	くまもと希望の星第36回会合を2018年7月25日開催 新規入会をされた木組様を紹介しグループ活動の内容についての話し合いと、平成30年度グリーン化事業への取組みについて共通ルールの確認を行いました。未経験工務店へのサポート体制の強化を確認しました。		
取組み③	サポートの有無 3	有		●
	内容	くまもと希望の星第39回会合を2019年3月19日開催 株式会社黒田建築井上氏を座長で、これからの物件獲得を主題にグループ主催の研修を行いました。安定受注の為に経験工務店から未経験工務店に向けて問題意識の身につけその対策について、考える機会を作りました。		

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	9	発行予定	32
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	一般社団法人JBN・全国工務店協会	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	グループ内の施工会社が倒産した場合は、グループ内の他の施工会社が該当物件等の引継ぎを行い、お施主様への連携をとる。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	平成28年度改正省エネ法に基づく、一次エネルギー消費量等級5の取得を目指し、認定低炭素住宅レベルを推奨とするための研修会に参加して知識を学び実際の現場に生かすように図った。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	定例会議の中で、経験工務店が未経験工務店に対する勉強会を開催してきた。長期優良住宅・ゼロエネ住宅の施工現場で施工技術研修会を開き、未経験工務店の施工技術向上を図った。	
BELS工務店の登録数	3 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	くまもと希望の星			
H30採択グループ番号	07	—	0120	— 0752

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/05/17	名称	H31年度地域型住宅グリーン化事業説明会		
	内容	H31年度地域型住宅グリーン化事業 大阪会場での資料を基に話し合いを持ちました。共通ルールの確認と申請戸数と、交付申請の一年を通じた活動内容の概略の説明を行いました。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/06/30	名称	家づくり資金セミナー		
	内容	株式会社リクシルシヨールーム2Fにて 資金計画セミナーを合同会社はなぶさFP事務所・代表万江氏に住宅ローンと住宅性能の関係性について詳しくお話をさせていただきます。先着15組様限定の事前申し込みでの参加募集しています。						
	消費者説明会 2	有	開催日	2019/06/01	名称	完成現場見学会		
③ 工務店	内容	有限会社村田工務店 完成お披露目を開きます。予約制 6月1日～2日 熊本県産木材をふんだんに使った木の家の良さを伝え、長期優良住宅、ZEHの優位性を一般消費者へ知ってもらう場です。						
	工務店研修会 1	有	開催日	2019/07/17	名称	建設キャリアアップシステムについて	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/09/19	名称	断熱・気密・換気について	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/08/23	名称	ZEHプロジェクト	タイプ	座学
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	くまもと希望の星の事務局で、未経験工務店に対してグリーン化事業の交付申請・完了実績報告の書類作成の記載方法について技術的なサポートをして、書類作成に慣れるようにしていくことにより申請の活用を行いやすくなるようにしていく。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	未経験工務店に対して、施工時に行われる申請の時に必要な事柄や不明点に対して、即座に返答をするような体制づくりを行う。工務店同士のグループ内のサポート強化を図り、1件でも多く未経験工務店の申請が可能となるようにバックアップする。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容	ZEH未経験工務店の為の勉強会を1社ごとに個別に行っていく予定です。ZEHの優位性を理解し実績に結び付けるためであり、最終的には全社ZEHを概ね標準化を目指す目的です。 予定日6月20日・7月19日・8月23日						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	一般社団法人JBN・全国工務店協会
------------	----------	-----	-------------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	グループ内の工務店が倒産・廃業した場合は、グループ内の他の施工会社が該当物件の引継ぎを行う。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	ZEH長期優良住宅・ゼロエネ住宅の性能をクリアするための勉強会や、お施主様向けの勉強会や見学会を行い広く情報の拡大を図る。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	既存物件の良さを生かしながら、現在の住む人にとって快適な居住空間の提案力をつけて行けるように勉強会を開く。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/09/19				
内容	省エネリフォーム研修会を予定します。耐震と断熱リフォームの具体例での勉強会と、改修の伴う費用・見積などについて、トラブル回避するための研修を行います。						
研修計画 ②	有	実施日	2019/10/16				
内容	省エネリフォーム改修工事の現場見学会を開きます。お客様目線での現場を見て、実感することにより、自社の改修工事などの現場に生かす場を持ちます。同時に断熱改修などの施工技術の向上に向けた研修を行います。						

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	くまもと希望の星				
H30採択グループ番号	07	—	0120	—	0752

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	熊本の夏は高温多湿で、冬は氷点下まで下がる地域もある為、日射遮蔽と日射取得をコントロールする熊本の地域性に合ったパッシブな家づくりを推奨します。平成28年度改正省エネ法を満たし、平成28年度改正省エネ法に基づく一次エネルギー消費量等級5を取得し、認定低炭素住宅レベルを標準とすることを目標とする。白蟻の被害を防ぐために、基礎に防湿シートを設け白蟻対策を施し、更にベタ基礎をすることで防湿・構造共に良質な住宅とすることに取り組み。また、台風及び大雨被害の為に雨水浸透樹を設置する。(ただし、地盤・敷地の関係上、設置が難しい場合を除く)	●
----	--	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明					
主要構造材	土台	有	主要構造材(柱・梁・桁・土台)に合法木材(国内・国外)を使用する。			
	柱	有				
	梁・桁等の横架材等	有				
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無				
造作材	枠材、廻縁等	無				
板材	壁板、床板等	無				

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	グループに参加するプレカット会社を中心に価格の共有化を図る。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	台風及び大雨の被害軽減の為に雨水浸透樹を設置し、共同購入を推奨する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	グループに参加するプレカット会社を中心に、SNS等を使用し在庫の情報共有化を図る	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	一般社団法人JBN・全国工務店協会が作成した「絵・写真で見る木造住宅工事の管理」を基にこれに沿った施工基準を整備して行う。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	1年・3年・5年・10年・20年・30年の定期点検の実施と完了報告を義務化する。維持管理計画に基づき、補修をする。住宅履歴に補修履歴を登録したのち、事務局にその旨を連絡する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	グループとして、施工中と完成引渡し前に共通の検査項目チェックリストを作成し、それに沿ったチェックを行う。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	見積りでの一式表示をなくすため、グループ内で見積り内容などを持ち寄り、標準フォーマットの整備をしてお客様に信頼を得るような見積り書の作成を行う。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	グループの施工会社を中心として現場見学会などを積極的に開催して、各会社のHPやSNS等を通して地域型住宅の情報を発信することで信頼性の向上につなげる。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	一般社団法人木を活かす建築推進協議会の木造技能者検討委員会の提案に沿って普及推進を図る。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	建設職人の技能・経験が蓄積される、建設キャリアアップシステムをグループとして普及推進に努める。
③ 社会保険への加入	有	内容	社会保険未加入者に対して社会保険の加入促進を図り、それに伴う勉強会を開催する。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する法律の施行に伴い、必要とされる安全衛生などの完了整備に取り組んでいく。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	くまもと希望の星				
H30採択グループ番号	07	—	0120	—	0752

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

番号	有/無	内容
① 畳の活用	有	施工工務店や設計会社に対して、和室設置を推奨し、今年度の使用予定数(1畳換算)100枚、を目標とする。
② 和瓦の活用	有	施工工務店や設計会社に対して、和瓦仕様を推奨し、今年度の使用予定数70坪を目標とする。
③ 襖・障子の活用	有	施工工務店や設計会社に対して、襖・障子使用を推奨し、今年度の使用予定数(3×6換算)襖40枚・今年度の使用予定数(3×6換算)障子10枚を目標とする。
④ 地域の伝統的素材の活用	有	畳は熊本の八代地域が全国1位の生産地であるため、これを用いることを推奨する。

B 地域の住文化に関する取組み

番号	有/無	内容
① 地域の伝統的なデザインの継承	無	
② 地域の住まい方の継承	有	熊本の住まいは夏に重きを置いてきたために、夏の日射遮蔽の大切さを提案する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	なるべく高い塀を作らず、植栽等を目隠しに使い心地よい景観を保つように提案する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
(一社)JBNと全国建設労働組合総連合が構築している(一社)全国木造建設事業協会(全木協)が東日本大震災において応急仮設木造住宅建設に取り組んだ。平成28年度熊本地震においても同様に、当グループも応急木造仮設住宅、みんなの家(集会所・談話室)の建設に取り組んだ。益城町買取型災害公営住宅(田原・砥川・福原)の建設に携わってきました。
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み
応急仮設住宅の建設にいち早く対応できるノウハウの共有化と、『くまもと型復興住宅』のモデル展示を行い、地震で被災し家を失った方の自立再建のお役に立つ取り組みを行っています。